

高校生ICT 2018 Conference

in 大阪

社会で活躍するためのICT活用法 ～ 18才成人化を控えて ～

開催報告書

2018年9月9日（日） 10:00-17:30

【会場】大阪ユキピタス協創広場 CANVAS（内田洋行）

主催

高校生ICTカンファレンス実行委員会
（構成団体）

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁



2018

目 次

1. 開催概要.....	3
2. 高校生 ICT Conference 2018 地域開催.....	5
3. 高校生 ICT Conference 2018 in 大阪 開催概要.....	7
4. 主担当.....	11
5. 高校生 ICT Conference 2018 サミット.....	11
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	11
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応.....	11

1. 開催概要

名称：	<p>高校生 ICT Conference 2018</p> <p>テーマ：社会で活躍するためのICT活用法 ～ 18才成人化を控えて～</p>
主催：	<p>高校生ICTカンファレンス実行委員会 (構成団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 ● ※地域主催があれば追加
共催：	<p>内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁、</p> <p>※地域共催があれば追加</p>
後援：	<p>一般社団法人全国高等学校PTA連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、</p> <p>※地域後援があれば追加</p>
協賛：	<p>グーグル合同会社、株式会社ディー・エヌ・エー、一般社団法人情報教育研究所、株式会社ラック、グリー株式会社、株式会社サイバーエージェント、LINE株式会社、株式会社インテグラル、エースチャイルド株式会社、Twitter Japan株式会社、株式会社ベルパーク、株式会社メディア開発綜研、アルプスシステムインテグレーション株式会社</p>
協力：	<p>株式会社内田洋行、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、ストップイットジャパン株式会社、</p> <p>※地域協力があれば追加</p>
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011年度に「ICTプロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012年度は、東京開催を加え計17校79人の高校生が参加し、2013年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて5拠点にて開催し、計51校267人の高校生が参加しました。2014度も同5拠点にて開催し、計44校221人の高校生が参加しました。</p> <p>2015年度は、石川、長野、神奈川、福岡を加えた9拠点にて開催し、計78校310人の高校生が参加しました。2017年度は、より全国的な規模での展開に向けて、新たに北海道帯広、仙台、静岡、新潟、高知を加えた14拠点にて開催し、計107校476人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人に</p>

なる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。

【本年開催テーマのコンセプト】

2016年の参議院選挙から18才選挙権がスタートするとともに、成人年齢についても20才から18才への引き下げが暫時検討されてきました。2018年1月第196回国会で、成人年齢を18才とする民法改正案が提出され、これまで20才での成人という常識が、変わろうとしています。未成年者は親権者あるいは未成年後見人の親権に服することとなっており、成人になるということは、親権者の同意なく自身の判断で「契約」行為などを行うことができるようになります。

インターネットが私たちの生活に普及し、スマートフォンなど携帯型端末を持ち歩き、いつでもどこでもインターネットのサービスを利用できるようになりました。一方でクレジットカードやプリペイドカードの普及、仮想通貨の登場など、現金以外での取り引き方法がインターネット上では多く利用されるようになり、手元で簡単に契約行為を行うことが可能になりました。

18才成人化に伴い、いわゆる「大人」とみなされる年齢が引き下げされることに伴い、18才になれば大人としての権利を行使できるとともに、大人としての責任も生じることとなります。ビジネスの世界では、あらゆる産業でICTを活用し、業務の効率化や多様な事業を展開し始めています。今年度の「高校生ICT Conference」では、インターネットのある環境で生まれた高校生が、こうした高度にIT化された社会で活躍するために、どのようなことに注意を払い、どのような能力が必要で、どのようにそれらを身に付けていけばいいかを18才になる高校生のうちに考えておく機会を設けることを目的としました。

※平成21年4月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成23年度の小学校を皮切りに、平成24年は中学校、平成25年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しいICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全にICTを利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。

開催の概要：

【各開催地での内容】 ※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。

- (1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表
- (6) 講評 (7) サミット参加者発表

【東京サミット】

- (1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表

	(5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表 【最終報告会】 (1) 各府省庁への提言発表 (プレゼン) (2) 質疑応答・意見交換
各開催地 募集人員等：	募集参加生徒 30名 (各開催地により変動あり) 募集見学者各回 30名 (各開催地により変動あり)
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference2018 実行委員会：	【委員長】 ・ 米田謙三 (大阪私学教育情報化研究会 副会長) 【コアメンバー】 ・ 石田幸枝 (公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会理事・消費者 団体訴訟室長) ・ 猪股 富美子 (お茶の水女子大学 人間発達科学研究所) ・ 植田 威 (特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事) ・ 小城 英子 (聖心女子大学) ・ 他、関係者団体、事業者等 【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180

2. 高校生 ICT Conference 2018 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

開催地	開催日時	会場
札幌	2018年9月16日	札幌ユビキタス協創広場 U-cala(内田洋行)
帯広	2018年9月17日	とかちプラザ
宮城	2018年10月7日	東北工業大学一番町ロビー
山形	2018年9月29日	山形県庁
茨城	2018年8月22日	茨城県立青少年会館
神奈川	2018年10月6日	学校法人岩崎学園
新潟	2018年8月20日	NCC 新潟コンピュータ専門学校
石川	2018年9月15日	金沢大学角間キャンパス
長野	2018年9月29日	安曇野市明科公民館
静岡	2018年9月24日	専門学校静岡電子情報カレッジ
愛知	2018年10月21日	名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)
大阪	2018年9月9日	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
奈良	2018年9月30日	帝塚山大学奈良学園前キャンパス
山口	2018年8月10日	サビエル高等学校

高知	2018年8月14日	高知県立伊野商業高等学校
福岡	2018年9月23日	エルガーラホール
大分	2018年8月26日	九州電力株式会社大分支社 2階大ホール
鹿児島	2018年8月18日	鹿児島大学学習交流プラザ
サミット	2018年11月3日	東京ユキビタス協創広場 CANVAS(内田洋行)
最終報告会	2018年12月中旬	

東京サミットへは各地域で独自で実施した情報モラル・リテラシー啓発サミットからのオブザーバー参加者を招待予定。(サミット熟議のみ参加) ※2017年度実績：福井

3. 高校生 ICT Conference 2018 in 大阪 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など 67 名の参加者を得て、社会で活躍するための ICT 活用法 ～ 18 才成人化を控えて ～をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【リアル熟議】 司会進行・主旨説明 大阪私学教育情報化研究会 副会長 米田謙三様 本日の高校生 ICT Conference の主旨や概要及びスケジュールなどについて簡単に説明していただきました。</p> <p>開会の挨拶 総務省 近畿総合通信局 電気通信事業課 課長 下村 英治 総務省や近畿総合通信局での、取組み、また、高校生 ICT Conference への期待などについて、お話をいただきました。</p> <p>第一部 事業者による講演 エースチャイルド株式会社 青木 勲 実際に発生したネット上の事例をもとに、ネットトラブル発生の詳細、またエースチャイルドの対処方法の説明そしてこれからの社会での必要な力についてなどの講演を行っていただきました。またプレゼンテーションの方法、スライドの見せ方なども教えていただきました。</p> <p>プレゼンの内容をしっかり参加生徒はメモをとりながら次の熟議に備えていました。プレゼンの内容も 現在の問題点、今後の課題、これからの活用方法、企業の立場からの提案などいろいろなアイデアが盛り込まれていて大変有意義なものでした。</p> <p>アイスブレイク、 自己紹介 7つのグループに分かれ、アイスブレイクの後、各グループ内で自己紹介などを実施しました。昼食もグループごとで食べて親睦も深めました。</p> <p>第二部：熟議「社会で活躍するための ICT 活用法 ～ 18 才成人化を控えて ～」 グループに分かれ大学生がファシリテーターとなって、高校生熟議を開始しました。大人と子供のちがいや青年と未成年のちがいなどをメモや付箋紙を活用しながら模造紙に貼り付けて意見を整理分類しまとめて行きました。社会で活躍することについては、テーマにしぼった班や少し大きなテーマで取り組んだ班などいろいろとありました。</p> <p>熟議の中で分からない事は、企業の方もサポーターとして入っていただき、すばや</p>
----	--

	<p>く答えてくださいました。</p> <p>今回もファシリテーターは大学生を中心とした OB,OG が務めました。事前に何度も研修を重ね、また記録のフォームやまとめ方を打ち合わせして、滞りなくまとめることができました。</p> <p>(詳細は別紙「熟議録」をご参照ください)</p> <p>第三部：グループ発表</p> <p>各グループともプレゼンテーションソフトを活用して4分程度の発表を行いました。(詳細は別紙「グループ発表資料」をご参照ください)</p> <p>その後、参加生徒により、11月3日に開催される東京サミットに行く代表校の選定投票を行い、神戸学院大学附属高等学校が代表校に選出され、発表されました。</p> <p>最後に、OGのサミット代表から内閣府で発表経験もある永富さん本日の感想や現在の取り組み(現在台湾の大学に進学)について話してもらいました。</p> <p>講評にかえてグループのまとめを伝えました。</p> <p>ICTを用いて、社会とのコミュニケーションを重視し、好循環を生み出す。アプリに個人情報を統合し、情報を活用しやすい社会に。</p> <p>責任の重さが怖くて活躍できない…アプリ「インフィニティ」で解決！</p> <p>体験や知識を共有できるアプリを活躍に活用。</p> <p>ロボットを活用して、自分に足りない部分を補う。</p> <p>架空オフィスを開発し、誰もが“いつでも”、“どこでも”仕事をしやすく。</p> <p>成人してから必要なことを共有し、成人してからの不安解消。</p>
参加校：	<p>啓明学院高等学校</p> <p>東海大学附属大阪仰星高等学校</p> <p>大阪府立今宮高等学校</p> <p>兵庫県立千種高等学校</p> <p>羽衣学園高等学校</p> <p>大阪市立東高等学校</p> <p>神戸学院大学附属高等学校</p> <p>関西学院千里国際高等部 (順不同)</p>
日 時：	2018年9月9日(日) 10:00-17:30
場 所：	大阪ユキビタス協創広場 CANVAS
参加人数：	<p>熟議参加生徒 40人</p> <p>見学者・関係者 27人(教員・教育関係者・その他)</p> <p>合計 67人</p>
熟議グループ：	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略)</p> <p>【グループ名：1】6名</p> <p>羽衣学園高等学校2年女子、関西学院千里国際高等部2年女子、神戸学院大学附</p>

属高等学校 2 年男子、兵庫県立千種高等学校 2 年男子、東海大学附属大阪仰星高等学校 2 年女子、啓明学院高等学校 1 年女子

〔ファシリテーター〕

帝塚山大学 タニカワ クレハ

【グループ名：2】6 名

関西学院千里国際高等部 2 年女子、羽衣学園高等学校 2 年女子、神戸学院大学附属高等学校 1 年女子、東海大学附属大阪仰星高等学校 2 年男子、兵庫県立千種高等学校 2 年男子、啓明学院高等学校 1 年女子

〔ファシリテーター〕

関西大学 池西風美

【グループ名：3】6 名

関西学院千里国際高等部 1 年女子、大阪市立東高等学校 2 年男子、神戸学院大学附属高等学校 1 年女子、東海大学附属大阪仰星高等学校 2 年男子、兵庫県立千種高等学校 2 年男子、啓明学院高等学校 1 年女子

〔ファシリテーター〕

大阪工業大学 本田麻依

【グループ名：4】6 名

兵庫県立千種高等学校 1 年男子、啓明学院高等学校 1 年男子、関西学院千里国際高等部 1 年女子、神戸学院大学附属高等学校 1 年女子、東海大学附属大阪仰星高等学校 3 年女子、大阪市立東高等学校 2 年女子

〔ファシリテーター〕

関西学院大学 足立晴香

【グループ名：5】5 名

関西学院千里国際高等部 1 年女子、大阪市立東高等学校 2 年男子、神戸学院大学附属高等学校 1 年女子、東海大学附属大阪仰星高等学校 1 年女子、啓明学院高等学校 1 年男子、

〔ファシリテーター〕

神戸親和女子大学 原英莉

【グループ名：6】6 名

関西学院千里国際高等部 1 年女子、関西学院千里国際高等部 2 年女子、大阪府立今宮高等学校 3 年男子、東海大学附属大阪仰星高等学校 2 年女子、神戸学院大学附属

高等学校 2 年男子、羽衣学園高等学校 2 年男子

〔ファシリテーター〕

関西大学 上野楓

公立鳥取環境大学 小猿愛美

【グループ名：7】5名

関西学院千里国際高等部 2 年女子、羽衣学園高等学校 2 年女子、大阪府立今宮高等学校 3 年男子、東海大学付属大阪仰星高等学校 2 年男子、神戸学院大学附属高等学校 3 年男子、

〔ファシリテーター〕

大手門学院大学 桑原 憲祐

4. 主担当

安心ネットづくり促進協議会	事務局
大阪私学教育情報化研究会 株式会社内田洋行	会場、什器備品手配 飲食手配、庶務
各団体、事業者等	講演、ノベルティ、資料提供 他

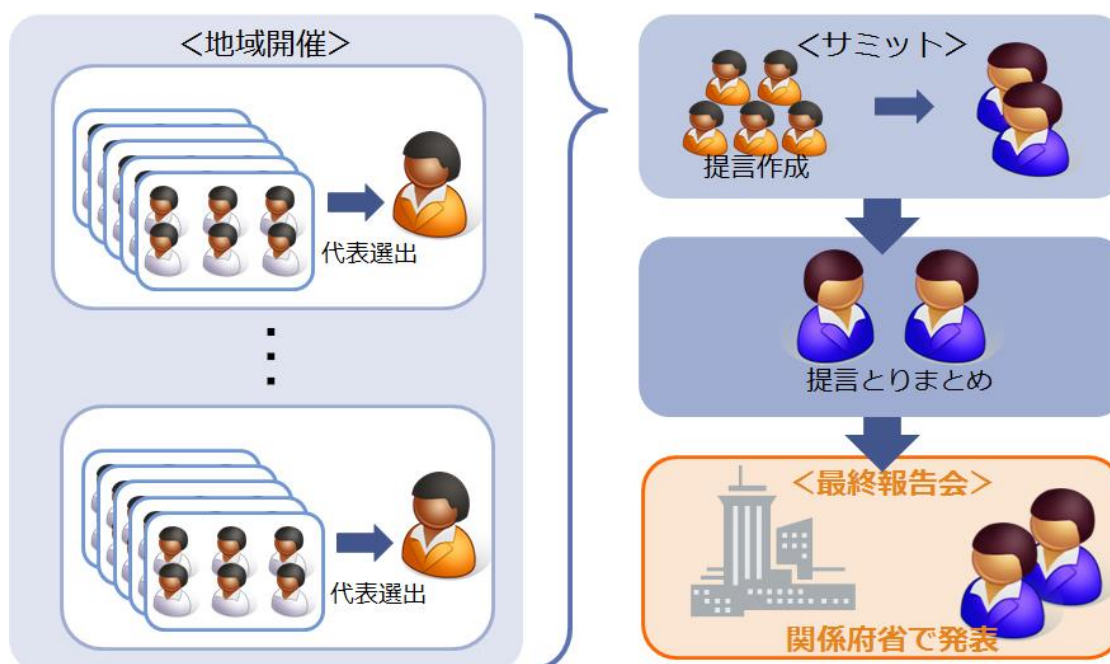
5. 高校生 ICT Conference 2018 サミット

高校生 ICT Conference 2018 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2018 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏る。



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2018 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2018 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以上